

e-ビーフNEWS 北の牧場から

April 2015

馬糞風(ばふんかぜ)

十勝では、春一番に吹く風をこのように言います。馬の糞の風とはイメージが悪いのですが、明治から昭和、戦後しばらくは輸送機関は馬が主流でした。明治に導入されたフランス軍馬系ペルシュロン、ブルドロン種という今では、ばん営競馬(ばんば)で使用されている馬です。馬車を引きイモや豆、石炭から木材まで運搬し活躍していました。冬の間に馬車道のあちこちにあったフンが、春風に舞い上がってきます。最近、十勝平野の畑の土が舞い上がり、車道も見えにくくなります。風は、日高の山々に雪がある限り、十勝平野一面の畑が暖かくなった温度差で吹いてきます。

暖かいですね。今日の気温は16℃。プラスです。十勝では5月中旬の気温。桜満開の東京とあまり変わらないかな。雪の裾野が1日1日10cm20cm短くなります。十何年ぶりのあれだけ積った雪が見る見る減ってきました。こうなるとそこいらじゅう、活性が出てきます。飛び交う小鳥たちがうるさい。シベリアに帰る白鳥が、への字になって飛んでゆきました。十勝川では、サクラマスやアメマスの湖上情報はあります。今年は早いです。4月の中には畑に入れそうで、農家の人は苗作りを開始しました。



NEWSばか読み

- 日本フードサービス協会(外食系)売上高 洋風FF23%減
2/26:MCが特にひどい
- 安倍首相 切望していた葉山牛で舌鼓
2/27:葉山牛 自衛隊の残飯飼料給与です
- ブラジル 大豆大豊作でも相場強含み
2/28:輸入物は、多くの要因が影響するね
- イオン 首都圏食品スーパー3社連合設立 3/3:量販店の苦悩が続く
- 2014年度飼料製造量2,400万t世界8位 中国はその7倍
3/3:桁が違う
- 和牛子牛相場60万円超し 3/4:コストの上がり、茫然
- 18歳選挙権成立 3/6:僕たち!世の中の裏を見るよ
- 米国産果実 値下がり 港湾スト解消 3/7:人為的な要因で食卓が壊れる
- ファミマ、ユニー(サークルK)経営統合 3/11:コンビニ業界は再編で強いね
- 農水省 食料自給率目標45%に下げ 3/13:施策通じず自然任せ
- カゴメ 野菜の国産使用率up強化
3/13:業務筋の原料転換が自給率アップにつながる
- 大阪南港 牛解体料変動制に
3/13:波及効果期待、ついでに無料に期待

- キャノン 低価格超小型人工衛星を開発販売 3/14:多機能期待
- NHKスペシャル「世界牛肉争奪戦」3/14:中国に地球が食われる
- 木材の輸出額最高 中国韓国の伸び顕著 3/16:森ごと売るなよ
- 農水省統計 2014年度上期和牛繁殖メス牛わずかに増加
3/16:定着に期待
- 14年度子牛市場取扱量 十勝市場、鹿児島を抜き1位
3/17:各市場減少幅大きく影響
- 14年度MA米入札で米国47%固定 3/20:ウラ約束見え見えだね
- 富士通・オリックス 大型野菜工場を共同運営開始
3/21:多彩な機能が要求される
- 配合飼料 4-6月若干値下がり
3/22:ベースは高く、生産者苦悩は変わらず
- 農水省 家畜改良目標提示 適度の脂肪交雑とおいしさ指標
3/22:生産者普及がカギ
- 乳業最大手 明治 酪農家への経営指導に踏み込む 3/24:JAの役割は
- 農水省 畜産クラスターづくり推進 地域ぐるみで畜産収益改善
3/24:連携必須
- 米国産冷凍バラ下落 中国の規制強化 3/24:これで牛丼、食べれる
- 牛乳取引基準・乳脂肪3.5の見直し機運 3/24:牛乳飲みすぎ下痢した
- バーレーン 牛間く輸出解禁 中東圏3カ国目 3/27:ハラール難儀

東京直近NEWS (3/30 Shi-REPORT)

ホルス 3月各社決算期にも関わらず、相場は高値安定状態。量販店の販売状況は変わらず特売は見られず販売物流は少ない。黒毛和牛の半額セール(通常価格から価格記載は無し)や国産ステーキの特売程度。米国・欧州産の露出も少ない。店によっては産地指定や交雑種・ホル去など品種に拘らず少しでも安価な国産を手当し末端価格を抑える傾向が強まっている。

4~5月に向けて需要が高まり相場も上昇する時期にあたるが、その中で輸入牛肉を含め、内臓、挽肉、さらにラムや特徴豚などの他の食肉を含めて見直す動きがでている。そのような動きから、ホルスに引合い問合せは依然として頭数は少ないが故に多い状況。価格については、暫時値上げ容認状況も、枝肉価格には追いつけず。4月販売については、枝肉さらに

高値からパーツ価格の値上げを実施するも一部価格が追いつかず、オーダー減の状況にも変化。

経産牛 3月に入り、一段と高値高騰傾向の相場。頭数の縮小も顕著で、道内の生体市場もヒート。

肥育牛も高値から、加工筋は国産として安価スライス材として需要は引合い強まりを見せている。特にパーツの引合いは強く、スライス、焼き材ともに問合せは多く今まで関西圏では経産パーツは動かないという地域からも問合せは増加傾向。牛正肉は豪州産が比較的在庫余裕あるも生協筋などは在庫薄いことから、再度問い合わせは増加傾向。各社年度末も牛正肉関係の在庫放出などは今期は無い模様。

活動のお知らせ

- 2月27日 帯広 十勝畜産技術セミナー(主催:道総研 畜産試験場ほか)
- 3月18日 札幌 北海道農政事務所訪問し、宇野担当官面会
農林水産省 エコフィード緊急増産対策事業の平成28年応募の件について打ち合わせ行う。
応募内容:カルビーポテト(株)帯広工場のポテトピール飼料化で確認を依頼する。

左先生の畜産学研究NEWS

先月の農協改革について古いのですが、北海道新聞も西日本新聞も全国農業協同組合中央会(JA全中)が監査権廃止と一般社団法人化、准組合員の扱いは5年間見送りで政府案を了承した自公与党と基本合意したと報道しました。(2/10,11) 農家の高齢化と担い手不足の問題などは議論が不十分で、生産基盤の異なる南と北の生産者には骨抜き改革との共通認識です。60年経って食糧の価値も変わっているのに結局、わが国の食糧・農業政策の本質論が国民に示されることはありませんでした。「農業優等生は農協に頼らず、農協がないと経営できない農家もある」という地域農協関係者の指摘する現実に、このまま護送船団方式の食糧政策でよいか国民には不安が残ります。e-びーふNews16号の学術情報は平成26年度十勝畜産セミナーの内容紹介と平成27年1・3月に発表された農水省の「飼料をめぐる情勢」他から肉牛と飼料用米関係の情報について紙面の範囲内でまとめます。

1. 2.27 平成26年度 十勝畜産技術セミナー (農協連ビル会議室)
毎年札幌で道酪畜協会が開催する畜産新技術発表会の十勝版で畜産試験場などが主催、口頭発表はミンパゴジムを含めて12題です。肉牛関係は、1. 「哺乳期」をを活用した黒毛和種去勢牛の哺育・育成マニュアル番外編(家改セ十勝牧)、分娩子牛は母牛と24hr同居後10-14日カハチで個体管理後哺乳に移行、生後100日間哺乳。1回哺乳量0.5-2.5l。1日最大6-8l。糞の状態により生菌剤活用の効果があり、新生子牛時の抗体移行の重要性が確認されました。2. 「黒毛和種去勢牛の育成期における牧草サイレージ」給与技

術(道総研畜試肉牛G)、牧草サイレージ(GS)を4ヶ月齢から給与し、切断乾草給与と比較しても肥育成績に有意差はなく、枝肉脂肪の黄色化の懸念はなく飼料費の節減と子牛価格にも改善効果がありました。3. 「とうもろこしサイレージと破碎玄米給与による黒毛和種去勢牛の肥育」(道総研畜試肉牛G)、とうもろこしサイレージ(CS)と破碎玄米による飼料自給率向上の肥育試験を実施、TMR調製や分離給与いずれも破碎玄米30-40%混合であれば肥育成績に影響を及ぼさず飼料用米価格¥55/kgならば飼料費を節減できることが示されました。4. 「近赤外測定装置による牛乳pH酸含量の推定および道内黒毛和種における実態」(道総研畜試肉牛G)、十勝枝肉市場出荷牛試料2,511点の近赤外線測定装置の値とガス chromatography によるオレイン酸含量の測定値を分析、 $r=0.800$ の相関を得、十勝市場出荷枝肉乳pH酸含量は56.2%と他県のブラッド牛の指標より高く、その遺伝率は0.55と他の枝肉形質より高く、遺伝的改良が可能と思われました。

2. 「飼料をめぐる情勢」平成27年1月農林水産省生産局畜産部畜産振興課h25年度の飼料需要量は23,799TDNトソで、飼料自給率は26%(粗飼料77%、濃厚飼料12%)。配合飼料価格は国際価格(カガ)相場などの影響でh25年7月に¥67,992/トソを記録し、自主積立での通常補填と国の異常補填が発動されました。飼料用米の作付面積は個別所得保障でとうもろこしと同程度の価格で供給可能となり生産が増し、h26年は33,881haに、その上位5県は栃木、青森、茨城、山形、岩手県です。

道総研 畜産試験場NEWS

飼料米ととうもろこしサイレージを活用した肉牛生産技術の開発 シリーズ4回
④とうもろこしサイレージの分離給与と肥育成績との関連

道総研畜産試験場肉牛グループ 齋藤早希

試験方法

- ・ 供試牛：黒毛和種去勢牛23頭
(米TMR区・TMR区：各8頭、対照区：7頭)
- ・ 肥育期間：10～28ヵ月齢
- ・ 試験処理：
 - 米TMR区：CS主体TMRに飼料米を30%混合したTMRを給与
 - TMR区：CS主体TMRを給与
 - 対照区：慣行の濃厚飼料多給肥育

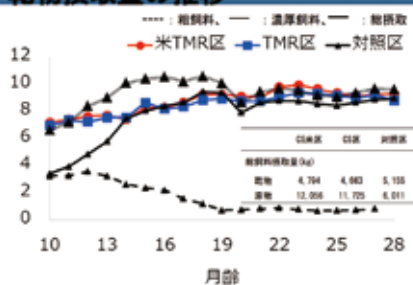
飼料構成(乾物ベース)

	米TMR区		TMR区	
	前期	後期	前期	後期
CS	60	40	60	40
飼料米	30	30	—	—
圧べんコーン	—	10	29	35
圧べん大麦	—	6	—	11
大豆粕	10	7	11	6
フスマ	—	7	—	8
CP	13.5	13.1	13.5	12.6
TDN	79.0	81.7	78.3	80.5

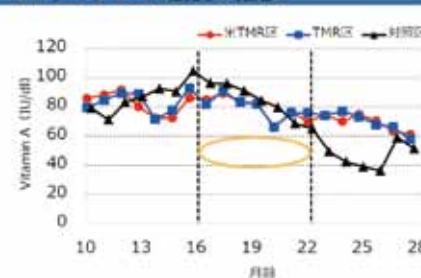
増体

	CS米区	CS区	対照区
体重(kg)			
開始時	311.0	304.5	319.7
終了時	790	794	768
日増体量(kg)			
前期	0.95	0.97	0.86
中期	0.91	0.91	0.97
後期	0.71	0.73	0.63
全期間	0.86	0.87	0.82

乾物摂取量の推移



血中ビタミンA濃度の推移

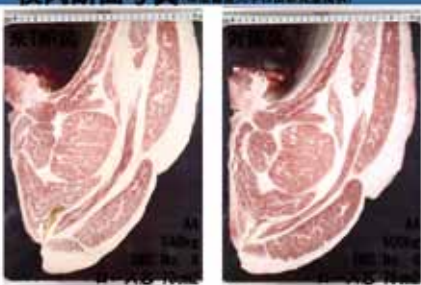


枝肉成績

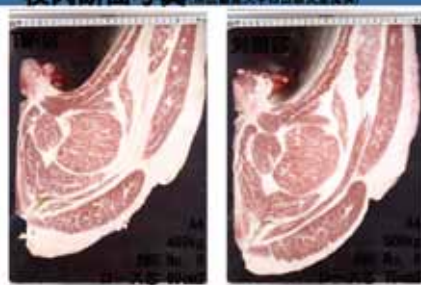
	CS米区	CS区	対照区
枝肉重量(kg)	482	488	488
ロース芯面積(cm ²)	60.6	57.5	63.3
バラ部厚(mm)	8.1	7.7	8.1
皮下脂肪厚(mm)	2.6	2.5	2.4
BMS No.	5.9	5.0	5.3
BFS No.	3.4	3.4	3.0

28ヵ月齢で出荷

枝肉断面写真 (鹿児島大学口肉研究室提供)



枝肉断面写真 (鹿児島大学口肉研究室提供)



まとめ

- CS主体TMR給与による肥育でも慣行法と同程度の枝肉成績が得られる
- CS主体TMRに飼料用米を混合しても特に問題はない
- ◆今後は・・・
- ◆肥育前期の最適な飼料構成についての詳細な検討が必要！！